

令和6年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立青嵐中学校

全国学力学習状況調査（中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	1三 話合いの中の発言について説明したものと して適切なものを選択する。	42.9	<p>ほぼ全ての観点において全国・都の平均を上回り、国語の基礎的な知識・理解が定着していると考えられる。特に記述式問題の、1四「話合いの話題や発言を踏まえ、『これからどのように本を選びたいか』について自分の考えを書く」では本校の正答率は63.6ポイントであり、全国平均より18.9ポイント、都平均より15.2ポイント高い。対話的な学びによって自分の考えをまとめ、表現する力が身に付いているといえる。</p>	<p>1三は、全国・都平均ともに下回っている。原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係を読み違えていると想定される。文末表現などをもとに意見と根拠を読み分けられるよう重点的に指導していく。</p> <p>2一は、全国・都の平均は上回ったものの、他の問題と比べて正答率は低い。文章と図の関連を十分に理解できていないと考えられ、図が文章のどの部分と関連するかをグループで確認し、教え合う活動を取り入れて定着を図る。</p>
	2一 本文中の図の役割を説明したものと して適切なものを選択する。	46.1		
	4二 短歌に詠まれている情景の時間帯の 違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の 順番を並べ替える。	51.9		
数学	4: 一次関数 $y=ax+b$ について、 $a=1$ 、 $b=1$ の時の グラフに対して b の値を変えずに、 a の値を 大きくしたグラフを選ぶ	67.5	<p>全体的に全国の平均正答率を上回っており、全国平均から最も高いもので18ポイント上回っている。唯一下回っている問題番号が6(2)で、0.8ポイント下回っている。</p>	<p>4の一次関数のaの値を変化させる問題では、bの値を変化させたものを選んでしまう誤答が多かった。式とグラフを関連させて意味を理解させるよう指導を工夫することが課題である。</p> <p>その他の問題に関しては、全国の平均正答率よりも高く、また無回答率は低かった。正答数分布グラフを見ると、正答数が6問の付近が多い。全体的に定着が見られ粘り強く取り組んでいると考えられるが、正答数が半数以下の生徒に対しての支援が課題である。</p>
	5: 2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、 2枚とも表が出る確率を求める	79.2		
	6(2): 正三角形の各頂点に○を、各辺に□を かいた図において、□に入る整数の和が○ に入れた整数の和の2倍になることの説明 を完成させる	42.2		
	8(3): 結衣さんがかいたグラフから、18Lの 灯油を使い切るような「強」と「弱」の ストーブの設定の組み合わせとその使用 時間を書く	81.8		